

## 平成 30 年度 研究計画書

### Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ 教授
氏名 Name	米田 信子
専門分野 Academic Field	言語学、バントゥ諸語

#### 平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	①バントゥ諸語の形態統語論的マイクロバリエーション ②日本語との対照研究				
研究計画（400字～500字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words) 昨年に引き続き、科研プロジェクト「バントゥ諸語における従属節の形式と意味に関する比較研究」、共同研究プロジェクト「バントゥ諸語の形態統語論的現象のマイクロバリエーション研究」（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）、「対照言語学から見た日本語の研究」（国立国語研究所）、「Subject and Topic」（ベルリン・フンボルト大学）の研究を進める。特に今年度は科研プロジェクトの最終年度であり、また3件の重要な国際会議があることから、成果発表に重点をおく。科研プロジェクトに関しては、バントゥ諸語の名詞修飾構文の類型化、および名詞補文と動詞補文との連続性について論文にまとめる。共同研究のプロジェクトに関しては、International Congress of Linguists、International Conference on Bantu Languages（いずれも7月、ケープタウン大学、南アフリカ）、World Congress of African Linguistics（8月、モハンマドV大学、モロッコ）、International Conference on Reconstructing Proto-Bantu Grammar（11月、ゲント大学、ベルギー）において、とりたてて表現、多重目的語構文、主語の主題性に関する発表をする。今年度の研究はこれらの準備が中心になるとと思われる。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	言語学	日本語学	文化人類学 (アフリカ)		
キーワード Keywords*2	バントゥ諸語	マイクロバリエーション	名詞修飾節	従属節	対照研究